

## 旅行情報誌から読み解く人気の河川の共通項

宮城県仙台二華高校	非会員	○星 美沙希
宮城県仙台二華高校	非会員	岡田 瑤樹
東北大学大学院	正会員	山本 道
宮城県仙台二華高校	教諭 非会員	馬場 裕樹
東北大学大学院	正会員	風間 聡

### 1. 目的

近年、河川におけるごみの不法投棄や水難事故が発生し問題視されている。これらは、川への関心を深め、正しい理解を促すことで改善されると考えられる。そこで、川への関心を高める手立てとして本研究においては、先行研究の旅行情報誌分析からアクセス時間と河川の人気の関係と観光スポットに含まれる要素について考察し、身近な河川を含んだモデルプランを作成したいと考えている。

### 2. 調査方法

#### (1) アクセスと河川の人気の関係

先行研究旅行情報誌“るるぶ”による分析（15～16年度版 46冊を使用し、日本の河川観光スポットの情報をまとめた。）で掲載面積順に並べられた河川観光スポットを順位が高いほど人気があるとし、上位から10スポットごとに1グループとした。この時下位4か所が余るが、それはその上の10か所と合わせて14か所を1グループとした。また、アクセス時間はるるぶ内に記載されたものとする。それらを縦軸にアクセス時間(分)横軸にグループ分けされた順位(位)として1グループ毎の自動車による近隣都市から河川観光スポットへのアクセス時間(図1)とグループ毎の公共交通による近隣都市(県庁所在地)から河川観光スポットへのアクセス時間(図2)の2つの観点からグラフを作成し比較した。

#### (2) 観光スポットを構成する要素と河川の人気の関係

“るるぶ”に記載されている観光スポットのうち、散策を主としかつ入場無料の場所を含む場所について、「写真スポット」「おいしい食べ物、グルメ」「工芸品」「イベント予定」の数を調べた。

### 3. 分析結果

主要な分析結果を図1, 2, 表1に示す。図1は車による近郊都市から河川観光スポットへのアクセス時間を先述したグループ毎で比較したものである。大まかに見ると50時間を超えたあたりから右肩上がりのグラフとなっているが、31～40位のグループは順位は高いがアクセス時間が長くなっていたり、231～244位のグループは順位は低いアクセス時間は比較的短く、細かく分析した結果と大きく分析した結果とでは違いが生じた。図2は公共交通による近隣都市河川観光スポットへのアクセス時間を先述したグループ毎で比較したものである。図1と同じように全体的にみると右肩上がりのグラフとなっているが、171～180位のグループは順位は低いアクセス時間は短かったり1～10位のグループから141～150位のグループまで大体同じアクセス時間であり、細かく分析した結果と大きく分析した結果とでは違いが生じた。また図1図2を比較すると、図2の方が人気河川観光スポットはアクセスが良いという予想に沿った値が得られた。

表1は河川または湖に含まれる観光スポットと要素の数を表にしたものである。各観光スポットに要素の総数の差はあれど、写真スポットとグルメの数が多い反面、工芸品とイベントの予定の数が少ないという差が生じた。また、イベントの予定が無い観光スポットが目立った。

### 4. 考察

分析結果より以下の3点のことが考えられる。第一に、アクセス時間と河川の人気には少なからず関係があり、アクセス時間の短い河川観光スポットの方が人気な傾向にあることが分かった。アクセスの悪い

スポットだと日帰りやそのスポットを一番の目的として訪れていない人にとって行きづらいからだと考えられる。そのためアクセスの良い河川観光スポットの方が集客に向いていると考えられる。

第二に、人気な河川観光スポットは公共交通でのアクセスが比較的良い場所が多いことが分かった。これは公共交通を利用する観光客は徒歩での移動が車で訪れる観光客よりも長い為、アクセスの良い観光スポットを選ぶためだと考えられる。また一方で家族連れなど大人数での観光は、公共交通を利用するには不向きな為、車で訪れると考えられ、駐車場を設けることも集客に有効なのではと考えた。第三に、散策が盛んな観光スポットは写真スポットや食べ物の数が多い傾向にあることが分かった。これは、写真を撮ることや食べ物を食べることはより気軽にできるからだと考えられる。

**まとめ**

本研究から以下の結論を得た。

- 1) 観光客はアクセスの良い河川観光スポットに集まる。特に公共交通が利用しやすく、駐車場の多い場所が多量の集客が期待できる。
- 2) いい写真が撮れる場所を整備や、地方の美味しい食べ物をアピールすることで、客を集められる可能性がある。

また、今後の展開としては今回調べたアクセスや要素の数の他にも人気な河川観光スポットの共通点を探し、身近な河川を主としたモデルプランの作成をしたいと考えている。

**謝辞**

本研究を作成するにあたり東北大学大学院工学研究科の風間聡教授をはじめとする多くの先生方から丁寧かつ熱心なご指導を賜りました。ここに感謝の意を表します。

**参考文献**

- 1) 旅行情報誌“るるぶ”：`15～`16年度版 46冊(国内向け)
- 2) 佐藤 理久, 青沼 ひかる, 安西 聡, 末永 夏子, 橋本 彩子, 小金 聡, 風間 聡, 2018：河川の認識調査と親水の活性化への方策の提案, 水文・水資源学会誌第 31 巻第 5 号, pp.393-398
- 3) 十和田市公式ホームページ  
<http://www.city.towada.lg.jp/>

- 4) 一関市公式ホームページ  
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/1,html>
- 5) 中津市公式ホームページ  
<https://www.city.nakatsu.jp/>
- 6) 加賀市公式ホームページ  
<https://www.city.kaga.ishikawa.jp/>
- 7) 日南市公式ホームページ  
<https://www.city.nichinan.lg.jp/>

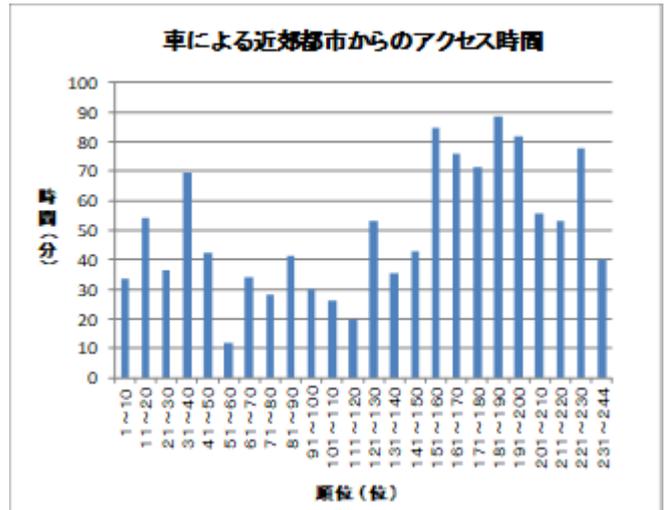


図1 車による近郊都市からのアクセス時間（るるぶ）

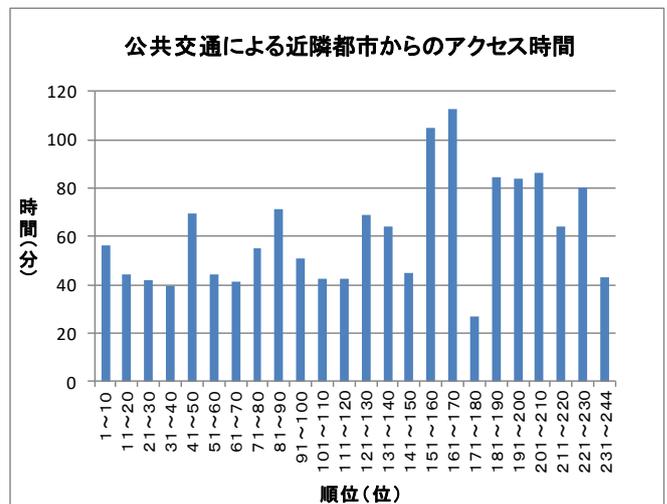


図2 公共交通による近隣都市からのアクセス時間

	写真スポット	グルメ	工芸品	イベント予定
十和田湖	10	10	2	0
磐井川	9	4	2	2
山国川	8	6	0	0
大聖寺川	6	3	2	0
猪八重谷川	7	4	0	0
利根川	14	9	1	0
平均	9.0	6.0	1.2	0.33

表1 観光地ごとの要素数